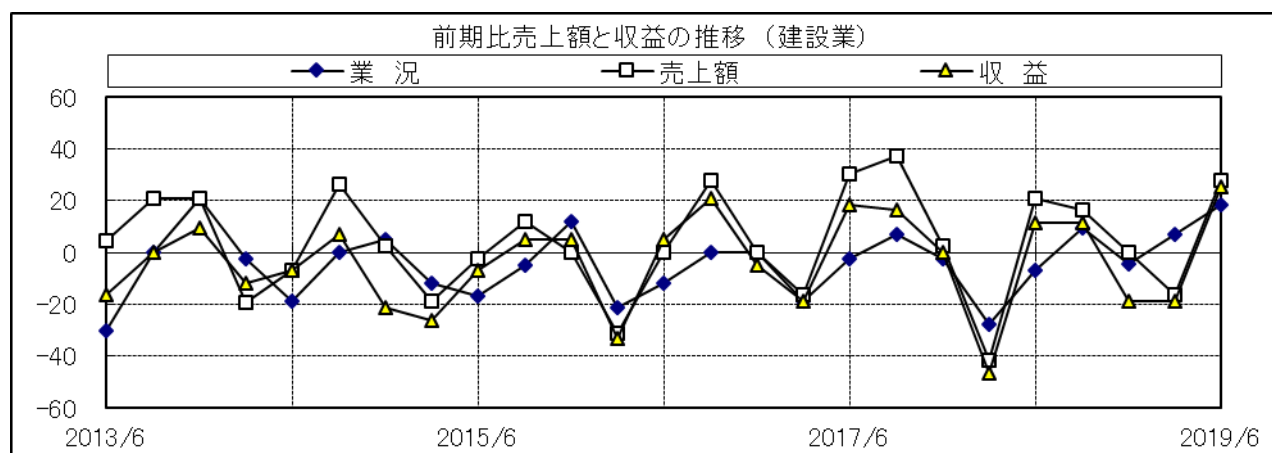


建設業 43 企業（回答率 100.00%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期見通し
業 況	-4.6	7.0	18.6	30.3
売上額	0.0	-16.2	27.9	39.6
収 益	-18.7	-18.6	25.6	25.6

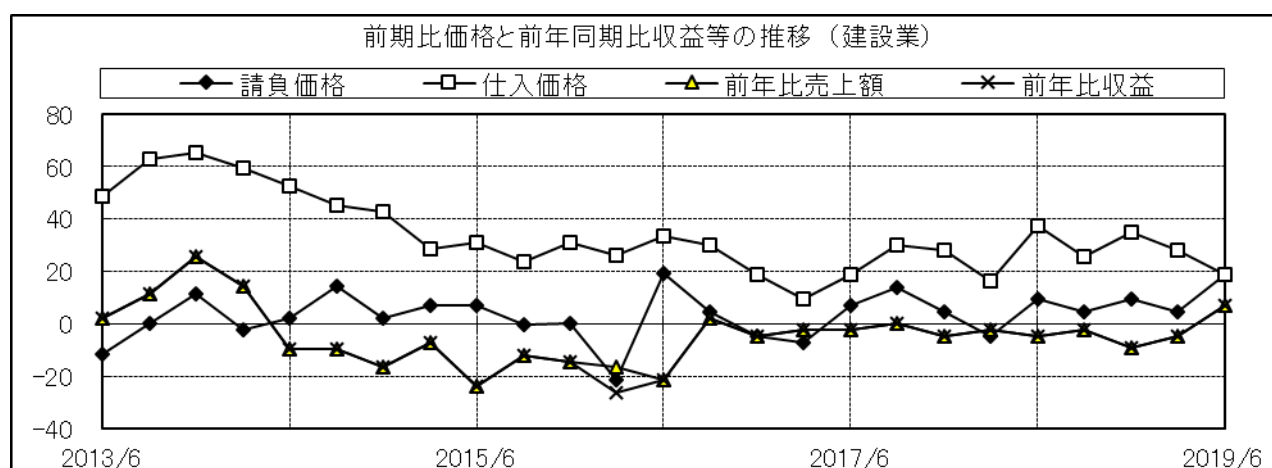
今期の業況判断 D. I. は 18.6 で、前期比 11.6 ポイント上昇、前年(△7.0)比 25.6 ポイント上昇した。地区別 D. I. の水準は高い順に、広尾が最も高く、えりも、浦河、様似、静内と続き、三石が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は、27.9 で、前期比 44.1 ポイント上昇した。収益判断 D. I. は 25.6 で、前期比 44.2 ポイント上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期見通し
請負価格	9.4	4.7	18.6	25.6
仕入価格	35.0	27.9	18.7	20.9

請負価格判断 D. I. は 18.6 で、前期比 13.9 ポイント上昇、前年(9.3)比 9.3 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 18.7 で、前期比 9.2 ポイント下降、前年(37.2)比 18.5 ポイントの下降となった。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期見通し
残業時間	-2.4	-9.3	-2.3	18.6
人手状況	-37.2	-23.3	-27.9	-39.6

残業時間判断 D. I. は△2.3 と前期比 7.0 ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△27.9 と、前期比 4.6 ポイント下降し、人手不足感が強まった。

□ 設備投資の動き

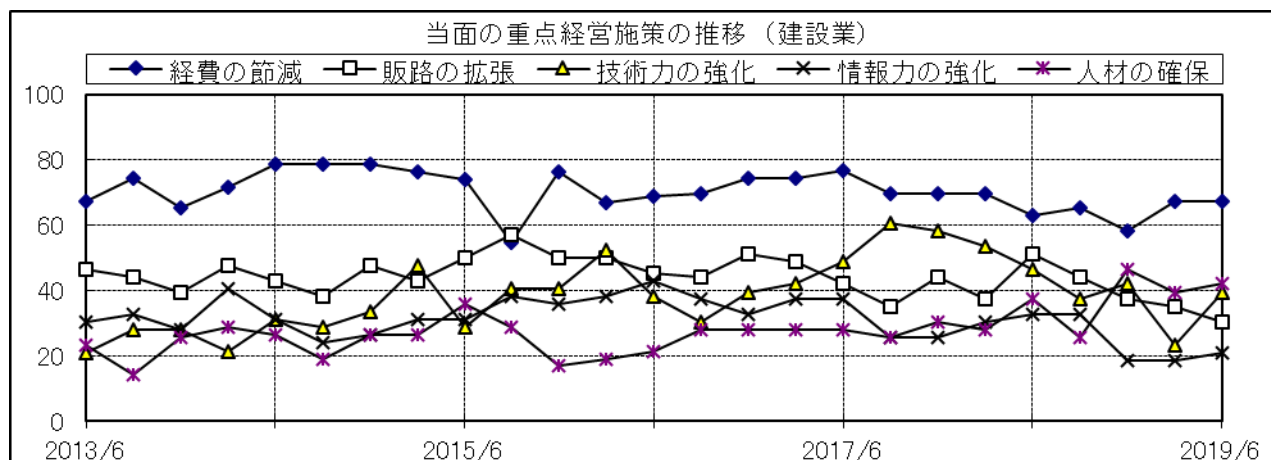
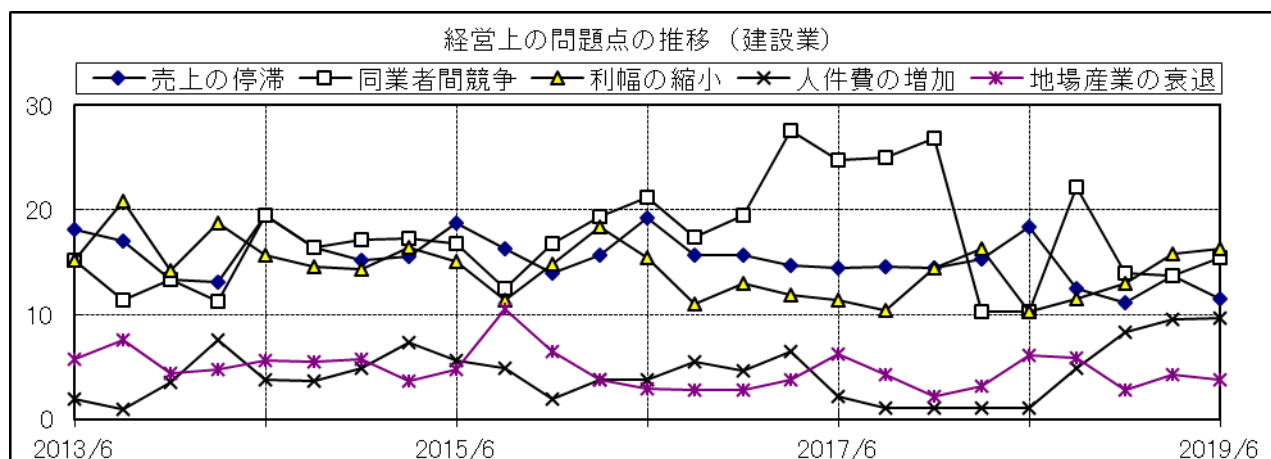
設備投資の充足感を示す D. I. は△7.0 で、前期(△4.7)比 2.3 ポイント下降した。

設備投資実施企業割合は 18.6 で、前期(14.0)比 4.6 ポイント上昇した。設備投資は、前期 6 社に対し、8 社の実施となった。来期の設備投資は、5 社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「利幅縮小」16.3%が最も多く、「同業者競争」15.4%、「人手不足」12.5%、「売上停滞減少」11.5%、「人件費増加」9.6%、「材料価格上昇」8.7%、「下請確保難」7.7%、「大手企業競争」6.7%、「地場産業衰退」3.8%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が 67.4%と最も多く、「人材確保」41.9%、「技術力強化」39.5%、「販路拡大」30.2%、「情報力強化」20.9%、「労働条件改善」16.3%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断 D. I. は 30.3 と、今期比 11.7 ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断 D. I. は 39.6 と、今期比 11.7 ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断 D. I. は 25.6 と、今期と同水準を見通している。

予想請負価格判断 D. I. は 25.6 と、今期比 7.0 ポイントの上昇を見通している。

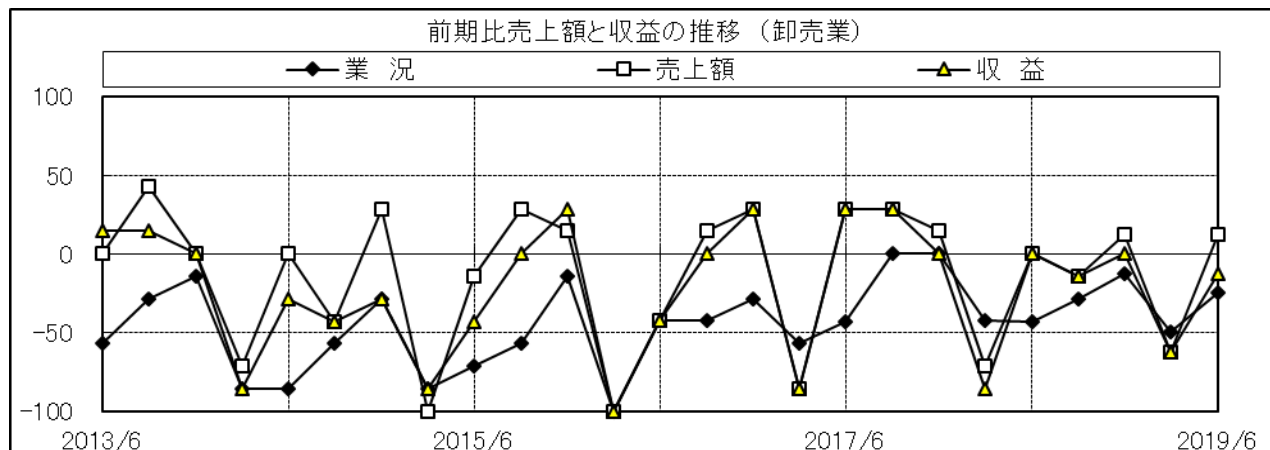
予想仕入価格判断 D. I. は 20.9 と、今期比 2.2 ポイントの上昇を見通している。

卸 売 業 8 企 業 (回答率 100.0%) の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
業 況	-12.5	-50.0	-25.0	-25.0
売上額	12.5	-62.5	12.5	-12.5
収 益	0.0	-62.5	-12.5	-12.5

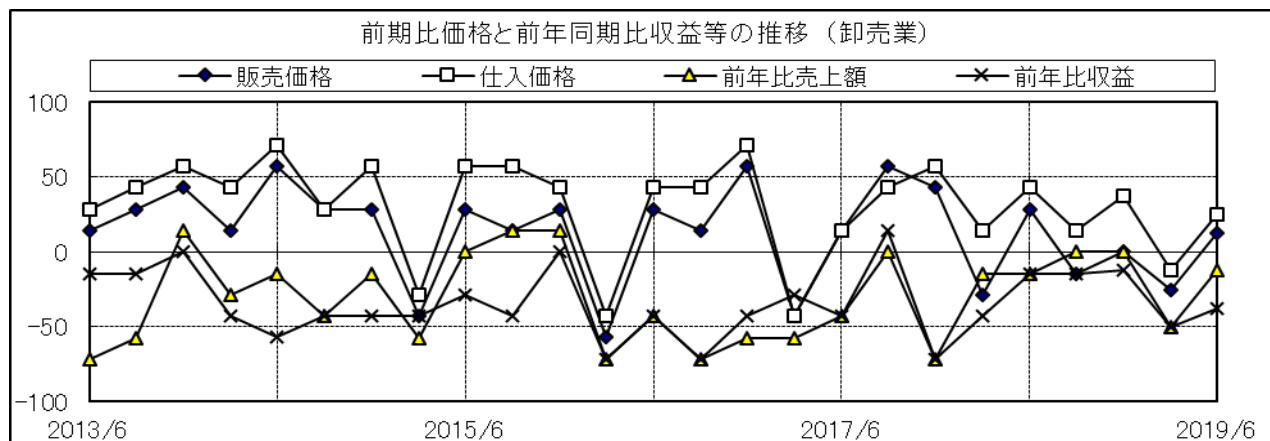
今期の業況判断D. I. は△25.0で、前期比25.0ポイント上昇、前年(△42.9)比17.9ポイント上昇した。地区別の水準は、浦河・静内地区は上昇、様似地区は横這いとなった。売上額判断D. I. は12.5で、前期比75.0ポイント上昇。収益判断D. I. は△12.5で、前期比50.0ポイント上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
販売価格	0.0	-25.0	12.5	0.0
仕入価格	37.5	-12.5	25.0	12.5

販売価格判断D. I. は12.5で、前期比37.5ポイント上昇、前年(28.6)比16.1ポイント下降した。仕入価格判断D. I. は25.0で、前期比37.5ポイント上昇、前年(42.9)比17.9ポイント下降した。業種別では、水産業は、販売、仕入価格ともに横並び。食品業は、販売、仕入価格ともに上昇している。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
残業時間	12.5	-12.5	0.0	0.0
人手状況	-25.0	-12.5	-25.0	-25.0

残業時間判断D. I. は0.0で、前期比12.5ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断D. I. は△25.0で前期比12.5ポイント下降し、人手不足感が強まった。

□ 設備投資の動き

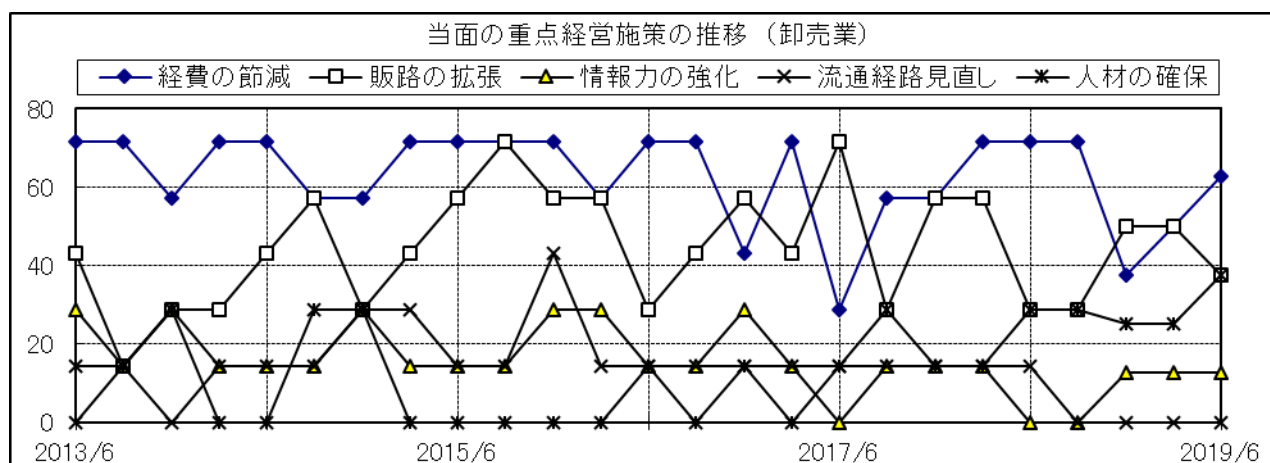
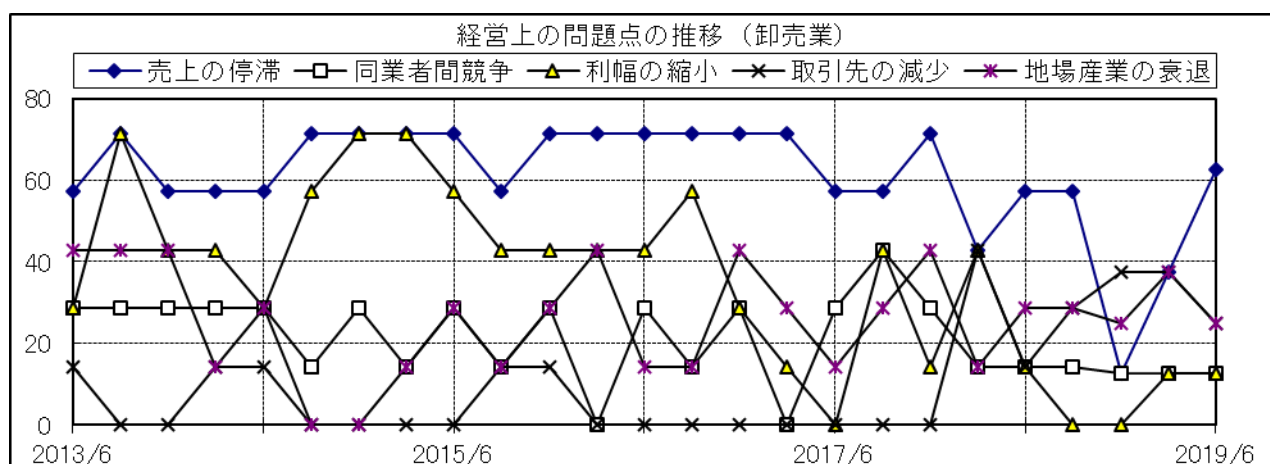
設備投資の充足感を示すD. I. は△12.5で、前期(△12.5)と同水準となった。

設備実施企業割合は12.5で、前期(0.0)比12.5ポイント上昇した。設備投資は、前期0社に対し、実施企業は1社。来期の設備投資予定は0社となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が62.5%と最も多く、「販売商品不足」・「値上要請」・「諸経費増加」・「取引先減少」・「地場産業衰退」が25.0%、「人手不足」・「同業者競合」・「輸入製品競合」・「利幅縮小」・「人件費増加」・「店舗老朽化」が12.5%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が62.5%と最も多く、「販路拡大」・「人材確保」が37.5%、「品揃えの充実」・「不動産有効活用」が25.0%、「情報力強化」・「新事業開始」・「パート化」が12.5%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△25.0と、今期と同水準を見通している。

予想売上額判断D. I. は△12.5と、今期比25.0ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D. I. は△12.5と、今期と同水準を見通している。

予想販売価格判断D. I. は0.0と、今期比12.5ポイントの下降を見通している。

予想仕入価格判断D. I. は12.5と、今期比12.5ポイントの下降を見通している。